

## 福岡市水道水源かん養事業基金 第18回運営委員会 議事録(要旨)

- 1 開催日時：平成24年8月8日(水) 13:30~15:00
- 2 開催場所：水道局本館6階 局議室
- 3 委員数：10名
- 4 出席者：10名
- 5 議事
  - I. 基金概要について
  - II. 平成23年度事業について
  - III. 平成24年度事業について
  - IV. 平成25年度事業計画(案)について

- 議事I 基金概要について
- 議事II 平成23年度事業について
- 議事III 平成24年度事業について …事務局説明

### 【質問・意見】

委員：今年度、福岡市南区で開催される筑後川関連のイベントにおいて、本基金の市民団体活動助成金を活用出来ないかと相談を受けたが、具体的な内容については、イベント事務局より相談に行くように話すかどうか？

事務局：今後、イベント事務局より詳細な話を聴き、協議をしていきたい。

委員：色々な新しい試みで、交流事業を行っているようであるが、参加者があまり増えていないのではないかと。広報手段は何か？また、交流事業に高齢者の参加者が多く、新しい人が参加することのほうが交流事業の効果は大きいと思うので、新しい人を優先的に参加させるなどの方法をとれないか。

事務局：参加者数の増加は、各事業定員があり難しい。広報手段は、市政だより・みずだよりと福岡市・水道局のホームページが基本となる。また、参加者の選定方法は、応募者多数の場合は抽選で決めている。

今年度より、交流事業の一つ吉野ヶ里交流事業で小・中学生親子参加型での募集を行い、幅広い年齢層の応募が得られた。このように、募集手法を変えることにより、新しい参加者の取り込みを行っている。

委員長：水源林ボランティアの育成について。自然減になっているのか？

事務局：ボランティアの高齢化や転出等により、ボランティアの登録者数が減ってきたため、新たな取り組みとして、「福岡市水源林ボランティアの会」とともに、新規水源林ボランティアの育成を行っている。根付いていけば維持できるのではないかと考え、実施しているところである。

委員：水源林ボランティアの募集方法はなにか？

事務局：水源林ボランティアの会のホームページと福岡市水道局のみずだよりである。

委員：ホームページに載せているだけ受身的姿勢である、facebook等に載せるなど、積極的な募集を行ってはどうか。

副委員長：積極的な募集方法など、一度研究してみてもどうか。

事務局：これまではホームページ、みずだよりが主でありましたが、より効率的なPRについて、検討させていただきたい。

● 議事IV平成25年度事業計画（案）について …事務局説明

**【質問・意見】**

委員長：日田市大山町の大山ダム残土捨て場の田来原地区の水源地域整備計画について、日田市や地元住民・学識経験者、福岡都市圏側の代表で構成されている委員会に参加しているが、具体的な構想はまだであるが、日田市側としては、福岡都市圏側から人がどんどん来て欲しいと思っている。

副委員長：日田市や朝倉市で先方より何か要望・要請はないのか。

事務局：日田市の田来原地区や朝倉市の寺内ダム上流の畜産団地跡地の利用について、今のところ、両市からの要望・要請はない。両市とも、7月の北部九州豪雨災害の対応で大変であり、それどころではないと思われる。

しかし、本基金でないが、今年度、福岡市役所1Fロビーで販売を行っている海水淡水化水のペットボトルの収益金で、苗木等を購入して植樹を、行ってはどうかと考えており、今後アクションをかけていくつもりである。

委員：本基金の水源地域整備事業においては、基本的に人工林整備(杉・ヒノキの針葉樹)を行っているようであるが、水源林として考えるならば、広葉樹の方がよい。

一度に皆伐するのはかん養機能を考慮すると相応しくないため、広葉樹・針葉樹が混ざる複層林とし、計画的に広葉樹林にシフトする方がトータルコストも抑えられる。

事務局：造林については、年間1haではあるが、広葉樹で行っており、複層林化を進めている。

また、今回、曲淵ダムでは、小規模面積ではあるが、皆伐予定の所があるため、どのような造林パターンが良いのか大学と協議中で、共同研究としてやっていけると考えている。

委員：造林についての専門家に、相談することを薦める。

事務局：審議いただいた内容を踏まえて、取り組んでいきたい。